

地域社会の経済発展月間

2025年10月23日 36期 第1582回

『剣道を通じた青少年の育成』 社会奉仕副委員長：下形眞生

剣道の理念：剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

剣道修練の心構え：剣道を正しく真剣に学び 心身を鍛磨して旺盛なる気力を養い

剣道の特性を通じて礼節を尊び 信義を重んじ誠を尽して 常に自己の修養に努め 以って国家社会を愛して 広く人類の平和繁栄に 寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定 全日本剣道連盟



剣道指導の心構え (竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修練を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法) 相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道) ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求める、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

健 康 いつも健康安全に留意し努力します

自 信 なににも自信をもって実行します

友 愛 友達とはいつも仲よくします

忍 耐 どんなに苦しくとも我慢ります

禮 育 おもなまけには勝るたまごと修行します

正 直 五度で直進にまじめに生活します

努 力 一生懸命体ますすすんと練習します



はきものをそろえる心もそろう
心がそろうときはきのものもそろう
ぬぐときにもみがみれない
はくときにはみがみれない
だれかがみだしておいたら
だまつてそろえておいてあげよう
そろすればきっと世界中の人の心も
そろうでしょう



チーム力

点ではなく線になる

自分の一本はチームの一本

自分の一勝はチームの一勝

これを忘れずに戦うことで線となり

チームとしての勝を意識できる

正々堂々精一杯戦う

後に続くものを信じ一生懸命戦う

続くものはその信頼を受け止め一生懸命戦う

この信頼のやり取りがチーム力を確実なものにする

流汗悟道

長く剣道に携わって（中学・高校・スポーツ少年団、競技に於いては審判等）いる中で、大切にしている事をお話しくださいました。

正範語録

実力の差は努力の差

実績の差は責任感の差

人格の差は苦労の差

判断力の差は情報の差

真剣だと知恵がいる

中途半端だと愚痴が出る

いい加減だと言い訳ばかり

本気ですから大抵のことは出来る

本気ですから何でも面白い

本気でしているから誰かが助けてくれる



例会日誌

◆司会 ◆点鐘 ◆齐唱 ◆ゲスト

ボイスカウト長野県連盟上田第13団
団委員長 小川 實 様
ガールスカウト長野県第5団
会計 原田ゆう子 様
同上 第25団
団委員長 村瀬知穂 様
上田地区保護司会 副会長 北澤康行 様
上田おけまーるジュニアセンター
センター長 小林みゆき 様



米山奨学生
カンメイイクさん



◆ラッキー賞
福岡のお土産：下形眞生

中村勝也
宮本尚武



◆お礼
鴨川RC様
との交流会

寺島秀則
箱山繁徳



◆会長挨拶

会長：小池育郷
【「いただきます」

「ごちそうさま」意味と由来】

なぜ「いただきます」「ごちそうさま」というのでしょうか、この挨拶に、日本の心が表れています。人と人との繋がりや食への関心が高まる今、この意味をもう一度、考えてみたいと思います。

「いただきます」の語源ですが、「いただく」は神様にお供えしたものを食べるときに、頂（いただき、頭の上）にかけたことから、「食べる」「もらう」の謙譲語としてつかわれるようになりました。やがて、食事を始めるときに「いただきます」と言うようになり、食事の挨拶として定着しました。この「いただきます」には二つの意味があり、1つ目は、食事にかか

わってくれた方々への感謝（提供者）。2つ目は、食材への感謝です（肉、魚、野菜などの命）。

「ごちそうさま」は漢字で書くと「御馳走様」。馳走とは「馬で走り回る」という意味で、昔は大切な客人を迎えるとき、方々に馬を走らせ食材を調達しました。そのもてなしの料理を、敬語の「御」を付けて御馳走と呼ぶようになり、もてなされた客人が感謝の気持ちを込めて、さらに「様」をつけて「ごちそうさま」になりました。

以前、給食費を払っているのだから「いただきます」という必要はないという親や、お金を払っているのだからお店で言う必要はない、という人が少なからずいたようです。いずれも「いただきます」のなかにお金が中心で生きる姿勢が垣間見えます。意味をしつかり知って使うことで、こころの栄養につなげたいものです。

◆幹事報告

① R I 日本事務局より
「地域社会の経済発展月間」リソース
② R 米山記念奨学会より「9月の寄付金傾向」
③ 地区より 小諸浅間RC事務所・事務局変更のお知らせ
④ 上田市聴覚障害者協会より

映画「ぼくが生きている ふたつの世界」上映会お礼

◆出席報告

委員長：手塚大輔

本 日	出 席	25名	65.79%
	欠 席	13名	(ベース38名)

◆ニコニコBOX

副委員長：山口長武

池田友紀	笠原康平	久保田修二	小池育郷
近藤博道	下形眞生	滝沢正彦	田辺寛樹
土屋 準	手塚大輔	寺島秀則	成田守夫
西田不折	箱山繁徳	宮川 巧	宮本尚武
宮文明	山崎信幸	横沢宏和	計19名

前 回	380,000円
今 回	34,000円
累 計	414,000円

～ニコニコメッセージ～

・各団体の皆様ようこそ。これから活躍、心よりご期待申し上げます。

小池育郷

* こちら同様のメッセージを頂きました。

・本日卓話をさせて頂きます。よろしくお願い致します。

下形眞生

・遅ればせながら松茸ご馳走様でした。

寺島秀則

・鴨川RCの皆様との交流、素晴らしかったです。有難うございました。

成田守夫

・寺島さんのお陰で商工会議所のフォトコンテストに入選致しました。表彰式で賞金とタペストリーを頂きました。

箱山繁徳

・寒いですね～～。

宮本尚武

・松茸食べ損ねました。残念！

宮文明

・夏から急に冬になりました。身体がついていきません。

山崎信幸

◆お知らせ

○日帰り家族旅行ご案内

寺島秀則

○講演会「空き家問題を考

える」ご案内 宮川 巧

◆点鐘

会長：小池育郷

